

インターオフィス 福岡支店・ショールームをオープン

—設計はケース・リアルの二俣公一氏、ショーケース第一弾はデンマークのMuuto(ムート)を展示

ヨーロッパの高品質な家具の輸入販売およびスペースデザインまで一気通貫に手がけるインターオフィス（本社：東京都港区、代表取締役社長：寺田尚樹）は、九州エリアでの事業拡大に伴い、今秋より福岡支店・ショールームを開業いたしました。

1975年の創業以来、東京本社を中心に、「より良いデザインを提案することによって、より良い生活を提供すること」をミッションとして事業を展開してきたインターオフィスは、1994年の大阪支店・ショールーム開設につぎ、新たな拠点として福岡に支店・ショールームを設け、お客様のニーズにお応えできる体制を構築するとともに、お客様のご支援のもと九州地方を次なるステージとしてミッションを推進して参ります。



九州地方の新たな拠点となるインターオフィス福岡支店・ショールームの外観。
設計は二俣公一氏率いるケース・リアル。

新しいショールームは「ショーケース」として位置付け、インターオフィスの取扱ブランドを順次展開いたします。柿落としでは、ニューノルディックデザインを牽引するブランド、デンマークの Muuto をご紹介します。

ショールームの設計を手掛けたのは、国内外で空間設計からプロダクトデザインまで幅広く活躍するケース・リアルの二俣公一氏です。

福岡支店・ショールームコンセプト コメント：インターオフィス代表取締役社長 寺田尚樹

私たちにとって、デザインに関心が高く、また住環境にも恵まれた都市である福岡に拠点を持つことは永年の夢でした。成熟した福岡のマーケットに、私たちの提唱するハイクオリティな家具と空間によるハイクオリティなライフスタイルの提案で、チャレンジしたいと考えていたからです。その夢を叶えるべく、今回は福岡で活躍する二俣公一さんとコラボレートすることにしました。二俣さんは、建築のみならず、インテリア、家具、プロダクトのデザインを精力的に行い、デザインの境界を超えた幅広い活動をされています。私たちの考える空間もまさに同じで、マクロな空間からミクロなプロダクトまでスケールを超えてトータルでデザインをし、提案すべきだと考えています。こういったことを二俣さんと議論するうち、意気投合して今回のコラボレーションが実現しました。

このショールームは、敢えて家具のショールームとしては極小のワンフロア約40平米の2階建て、合計約80平米の空間とし、ショールームというよりも「ショーケース」と位置付け、コンパクトながらも家具やプロダクトと空間が渾然一体となった密度の高い空間づくりを目指しました。コンパクトな空間での家具の展示は、展示空間の広さが実際の住宅のリビングやダイニングルーム、あるいはオフィスのミーティングルームと近い広さに設定できるので、展示されているソファやダイニングテーブルのスケール感を見誤ることがないという利点があると考えました。

また、コンパクトな空間だからこそ、多くのブランドを一同に紹介するのではなく、単一のブランドに絞った展示を行い、そのブランドのコンセプトやフィロソフィーを紹介することが可能です。その試みとして、ニューノルディックの旗手、デンマークのMuuto（ムート）の展示からスタートします。

そしてもう一点、空間的特徴として、部屋の広さに比べ天井が高いことです。これは二俣さんが設計当初から企図していたもので、床面積よりも空間の質を優先するというコンセプトのもと、天井高が4メートルに設定されています。日常の住環境に近い平面積に対して抜け感のある非日常の4メートルの天井高が、ショーケースとしてどのような効果もたらされるか楽しみです。



■二俣 公一 ふたつまた こういち



空間・プロダクトデザイナー。1975年鹿児島県生まれ。大学で建築を学び、卒業後すぐに自身の活動を開始。現在は、福岡と東京を拠点に空間設計を軸とする「ケース・リアル(CASE-REAL)」とプロダクトデザインに特化する「二俣スタジオ(KOICHI FUTATSUMATA STUDIO)」両主宰。国内外でインテリア・建築から家具・プロダクトに至るまで多岐にわたるデザインを手がける。2021年より神戸芸術工科大学 客員教授を務める。

<http://www.casereal.com/>

<http://www.futatsumata.com/>

第一弾ショーケース ブランド Muuto (ムート)

Muuto は、Peter Bonnén (ピーター・ボーン) 氏と Kristian Byrge (クリスチャン・ビエ) 氏の2人によって2006年にコペンハーゲンで創立されました。Muuto という名はフィンランド語で「新たな視点」を意味する”muutos” に由来します。

その名の通りスカンジナビアデザインに新しい考え方を取り入れた Muuto は、Thomas Bentzen (トーマス・ベンゼン)、Anderssen & Voll (アンデルセン&ヴォル)、Cecilie Manz (セシリエ・マンツ)、Harri Koskinen (ハッリ・コスキネン) ら最前線で活躍するデザイナーを積極的に起用し、これまでにないスカンジナビアデザインを志向するブランドです。

伝統的なスカンジナビアデザインの美しさ、機能性、クラフトマンシップに根ざしながらも、先進的な素材や技術、大胆な発想力で、家具、照明をはじめインテリア雑貨まで、幅広いコレクションでスカンジナビアデザインに新風を巻き起こし、国際的に高い評価を得ています。

近年では、ミラノサローネで Google とのテクノロジーを駆使して五感を刺激するコラボレーションが話題となる一方、環境への取り組みも積極的に行っており、ロングラスティングなプロダクトを開発し、持続可能な製品を提案しています。



クオリティの高いブランドを九州エリアに紹介し、空間づくりをサポートします

インターオフィスは、1975年の創業以来、約40年にわたり、ハイクオリティな空間と家具を豊富な実績と経験によって提供してきました。

豊かで快適なオフィス空間は、一人ひとりの発想力や生産性を高め、ビジネスにおいて確かな成果を導く力になります。また、オフィス空間のみならず、公共施設や商業施設、ホテルや住宅に至るまで、上質な家具とともに、上質な空間をトータルで提案します。

「ワークスタイルの変化に敏感に対応し、最適解のオフィス環境を提案すること、その提案は常に美しいデザインであること」を理念に、時代に即した機能的で快適な空間づくりをサポートしています。



■ 主要取扱ブランド



■ インターオフィス福岡支店・ショールーム概要

業務開始日：2022年10月19日

フロア面積：81.83 平米

所在地：〒810-0023 福岡県福岡市中央区警固 1-4-24 STAGE1 kego

営業時間：10:00-18:00（土日祝休み・予約制）

電話番号：092-406-6027 FAX 番号：092-406-6029

■ インターオフィス 福岡支店・ライブオフィス（ハイブリッド型スモールオフィス Mol.t）

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1 丁目 18-33 博多イーストテラス 1 階

*ライブオフィスは、SAKUMAESHIMA が設計を手掛けたハイブリッド型スモールオフィス Mol.t 内にございます。

■ 株式会社インターオフィス会社概要

interoffice 創業：1975年11月
 設立：1983年4月
 代表者：代表取締役社長 寺田 尚樹
 事業内容：ヨーロッパ製オフィス家具などの輸入・販売。空間デザインの提案。

■ お問い合わせ 株式会社インターオフィス www.interoffice.co.jp

〒107-0062 東京都港区南青山1-2-6 ラティス青山スクエア6F TEL. 03-5771-7631 E-mail: info@interoffice.co.jp

■ 画像のお貸出し、ご取材などご希望の際は、下記プレス担当までご一報ください。

Press Contact: 八ツ橋紀子 E-mail: press@interoffice.co.jp